



## 2018年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月9日  
東

上場会社名 株式会社ポラテクノ 上場取引所  
 コード番号 4239 URL <http://www.polatechno.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 博美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 白砂 直典 (TEL) 0255-78-4700  
 管理本部長  
 定時株主総会開催予定日 2018年6月22日 配当支払開始予定日 2018年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2018年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2018年3月期の連結業績(2017年4月1日~2018年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	21,201	1.6	2,839	0.1	2,750	△4.4	2,023	2.2
2017年3月期	20,867	△13.7	2,836	△30.1	2,877	△27.5	1,979	△29.8

(注) 包括利益 2018年3月期 1,789百万円( 0.5%) 2017年3月期 1,780百万円( △8.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	48.82	48.74	5.9	7.0	13.4
2017年3月期	47.76	47.64	5.9	7.6	13.6

(参考) 持分法投資損益 2018年3月期 -百万円 2017年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	39,669	35,216	88.4	846.27
2017年3月期	38,684	34,044	87.7	818.21

(参考) 自己資本 2018年3月期 35,077百万円 2017年3月期 33,914百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	3,745	△2,275	△638	18,824
2017年3月期	5,142	△1,520	△713	18,133

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00	621	31.4	1.9
2018年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00	621	30.7	1.8
2019年3月期 (予想)	-	7.50	-	7.50	15.00		28.3	

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	2.7	1,550	△8.1	1,550	△9.9	1,100	△10.1	26.54
通期	22,000	3.8	3,100	9.2	3,100	12.7	2,200	8.7	53.08

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2018年3月期	41,450,000株	2017年3月期	41,450,000株
2018年3月期	115株	2017年3月期	115株
2018年3月期	41,449,885株	2017年3月期	41,449,885株

(参考) 個別業績の概要

2018年3月期の個別業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	16,474	2.5	1,584	35.5	2,435	57.0	1,963	58.4
2017年3月期	16,071	△7.2	1,169	△49.0	1,550	△43.1	1,239	△38.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期	47.37	—
2017年3月期	29.90	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	32,055	28,188	87.9	680.06
2017年3月期	31,165	26,846	86.1	647.69

(参考) 自己資本 2018年3月期 28,188百万円 2017年3月期 26,846百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(企業結合等関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	20
(1) 貸借対照表 .....	20
(2) 損益計算書 .....	22
(3) 株主資本等変動計算書 .....	23

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国及び欧州では景気回復が緩やかに継続し、中国においても堅調な個人消費が経済を下支えし成長を維持しました。

日本経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調となりました。

このような環境の中、当社グループでは、グローバルかつ変化の大きい事業環境においても、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、新製品の開発、新規市場の拡大、コストダウンを推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は212億1百万円（前年同期比1.6%増）となりました。また、営業利益は28億39百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は27億50百万円（前年同期比4.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億23百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### （光学フィルム事業）

売上高は108億39百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

産業用や車載用LCDパネル向けの染料系偏光フィルムは出荷を伸ばしました。一方、温度追従型楕円偏光フィルム（TEP）は、自動車部品の構成の変化や競合各社との販売競争が激化したことにより出荷が減少し、光学フィルム事業全体では売上高が減少しました。

利益面につきましては、コストダウンの推進により、光学フィルム事業のセグメント利益（営業利益）は12億50百万円（前年同期比0.7%増）でありました。

#### （精密部品事業）

売上高は103億62百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

基板フィルム貼合品及び無機偏光板ProFluxは前年並みとなりましたが、X線分析装置部材は、従来品が堅調に出荷を伸ばしたことに加え、RaySpec Ltd. の全株式取得後の売上が加わったことにより、精密部品事業全体では売上高が増加しました。

利益面につきましては、X線分析装置部材関連の研究開発投資及びRaySpec Ltd. の取得関連費用の計上により、精密部品事業のセグメント利益（営業利益）は15億89百万円（前年同期比0.3%減）でありました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億84百万円増加し、396億69百万円となりました。主な増加は、現金及び預金の増加7億47百万円、のれんの増加12億10百万円であり、主な減少は、仕掛品の減少1億3百万円であります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億87百万円減少し、44億52百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金の減少2億22百万円、繰延税金負債の減少79百万円であります。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ11億72百万円増加し、352億16百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する当期純利益20億23百万円であり、主な減少は、株主配当金の支払6億21百万円、為替換算調整勘定の減少2億72百万円であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	2017年3月期	2018年3月期	対前年増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	5,142	3,745	△1,397
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△1,520	△2,275	△754
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△713	△638	75
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	18,133	18,824	690

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、188億24百万円(前連結会計年度末は181億33百万円)となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、37億45百万円(前連結会計年度は資金の増加51億42百万円)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益27億40百万円、減価償却費14億98百万円、たな卸資産の減少1億70百万円、仕入債務の減少1億43百万円、未収入金の増加1億84百万円、法人税等の支払額7億42百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、22億75百万円(前連結会計年度は資金の減少15億20百万円)となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出14億73百万円、有形固定資産の取得による支出7億45百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、6億38百万円(前連結会計年度は資金の減少7億13百万円)となりました。主な要因は、配当金の支払額6億21百万円であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
自己資本比率 (%)	81.8	84.8	88.4	87.7	88.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	156.2	110.9	80.6	71.9	104.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	537.8	2,385.8	1,276.0	5,020.8	3,104.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

本見通しにつきましては、現時点の状況により判断したものであり、予期せぬ事態が発生した場合には、予想数値と変わる場合があります。

2019年3月期の当社グループの業績は、以下の状況により増収増益となる見込みであります。

景気の概況としては、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により先行きは不透明な状況が続くと予想されます。そのような中、光学フィルム事業におきましては、自動車用ディスプレイの方式がSTNからTFTやVA方式への移行の継続により温度追従型楕円偏光フィルム(TEP)は減少しますが、TFT方式に対応した偏光フィルムの新製品の寄与により出荷増を計画しています。また、サングラス用偏光フィルムにつきましても出荷増を計画しており、この結果、光学フィルム事業では売上高が増加する見込みです。精密部品事業におきましては、液晶プロジェクタ部材の無機偏光板ProFluxの新製品の投入により出荷増を計画しています。また、X線分析装置部材は新たな子会社であるRaySpec Ltd.の寄与により出荷増を計画しており、この結果、精密部品事業では売上高が増加する見込みです。

利益面につきましては、引き続き次世代製品開発のための研究開発投資を継続しますが、原材料費の低減や加工工程改善による一層の生産の効率化によってコスト低減を図り利益が増加する見込みです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益に重大な影響を与える営業外損益及び特別損益の事象の発生は見込んでおりません。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題として位置付けており、企業体質の強化及び将来の事業展開のため内部留保を充実しつつ、弾力的に利益配当を実施してまいります。

当期の期末配当金につきましては、配当政策に基づき、1株当たり7円50銭とさせていただきます。この結果、中間配当金7円50銭と合わせた年間配当金は15円00銭となる予定です。

なお、次期の年間配当金につきましては、業績を勘案し1株当たり15円00銭(うち中間配当金は7円50銭)とすることを予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,112,954	17,859,989
受取手形及び売掛金	4,384,569	4,402,259
有価証券	1,034,389	984,170
商品	1,514	10,124
製品	1,642,311	1,635,849
仕掛品	1,403,011	1,299,717
原材料及び貯蔵品	1,740,943	1,768,701
繰延税金資産	347,141	289,390
その他	701,575	602,648
貸倒引当金	△4,070	△15,508
流動資産合計	28,364,341	28,837,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,635,892	8,562,677
減価償却累計額	△3,630,103	△3,931,039
建物及び構築物(純額)	5,005,789	4,631,637
機械装置及び運搬具	13,960,908	15,118,863
減価償却累計額	△11,756,386	△12,592,640
機械装置及び運搬具(純額)	2,204,521	2,526,223
工具、器具及び備品	1,793,733	1,820,067
減価償却累計額	△1,446,910	△1,528,107
工具、器具及び備品(純額)	346,823	291,960
土地	893,857	876,696
建設仮勘定	1,046,902	477,876
有形固定資産合計	9,497,895	8,804,395
無形固定資産		
のれん	24,229	1,234,372
特許権	375,187	278,549
その他	253,101	339,365
無形固定資産合計	652,517	1,852,288
投資その他の資産		
出資金	72,000	72,000
繰延税金資産	11,159	16,672
その他	90,025	89,690
貸倒引当金	△3,143	△3,143
投資その他の資産合計	170,040	175,219
固定資産合計	10,320,453	10,831,902
資産合計	38,684,795	39,669,246

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,122,741	1,899,921
未払金	764,648	819,194
未払法人税等	374,449	430,355
繰延税金負債	—	3,230
賞与引当金	264,413	239,134
役員賞与引当金	50,183	51,209
資産除去債務	19,247	—
その他	348,729	422,779
流動負債合計	3,944,411	3,865,825
固定負債		
繰延税金負債	492,803	413,539
退職給付に係る負債	166,952	163,521
資産除去債務	17,938	5,007
その他	18,684	4,932
固定負債合計	696,379	587,001
負債合計	4,640,791	4,452,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,095,125	3,095,125
資本剰余金	2,825,119	2,823,147
利益剰余金	27,457,071	28,859,309
自己株式	△54	△54
株主資本合計	33,377,261	34,777,527
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	746,519	474,510
退職給付に係る調整累計額	△208,973	△174,218
その他の包括利益累計額合計	537,546	300,292
非支配株主持分	129,196	138,599
純資産合計	34,044,004	35,216,419
負債純資産合計	38,684,795	39,669,246

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	20,867,054	21,201,867
売上原価	12,340,647	12,467,699
売上総利益	8,526,406	8,734,168
販売費及び一般管理費	5,689,748	5,894,344
営業利益	2,836,657	2,839,823
営業外収益		
受取利息	9,671	8,051
為替差益	1,148	—
たな卸資産売却益	7,646	5,994
その他	25,285	23,477
営業外収益合計	43,751	37,524
営業外費用		
支払利息	1,070	1,206
為替差損	—	122,723
上場関連費用	1,085	1,085
その他	509	2,064
営業外費用合計	2,665	127,079
経常利益	2,877,744	2,750,268
特別利益		
固定資産売却益	5	437
特別利益合計	5	437
特別損失		
減損損失	31,564	—
固定資産除却損	16,113	10,513
特別損失合計	47,677	10,513
税金等調整前当期純利益	2,830,072	2,740,192
法人税、住民税及び事業税	775,016	745,564
法人税等調整額	63,161	△39,334
法人税等合計	838,178	706,229
当期純利益	1,991,893	2,033,963
非支配株主に帰属する当期純利益	11,916	9,976
親会社株主に帰属する当期純利益	1,979,977	2,023,986

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期純利益	1,991,893	2,033,963
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△244,702	△279,627
退職給付に係る調整額	33,336	34,754
その他の包括利益合計	△211,366	△244,872
包括利益	1,780,527	1,789,090
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,768,752	1,786,732
非支配株主に係る包括利益	11,774	2,357

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,095,125	2,806,931	26,098,842	△54	32,000,844
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		18,188			18,188
剰余金の配当			△621,748		△621,748
親会社株主に帰属する当期純利益			1,979,977		1,979,977
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	18,188	1,358,228	—	1,376,417
当期末残高	3,095,125	2,825,119	27,457,071	△54	33,377,261

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	991,080	△242,309	748,770	123,641	32,873,256
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					18,188
剰余金の配当					△621,748
親会社株主に帰属する当期純利益					1,979,977
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△244,560	33,336	△211,224	5,555	△205,668
当期変動額合計	△244,560	33,336	△211,224	5,555	1,170,748
当期末残高	746,519	△208,973	537,546	129,196	34,044,004

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,095,125	2,825,119	27,457,071	△54	33,377,261
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△1,972			△1,972
剰余金の配当			△621,748		△621,748
親会社株主に帰属する当期純利益			2,023,986		2,023,986
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,972	1,402,238	—	1,400,266
当期末残高	3,095,125	2,823,147	28,859,309	△54	34,777,527

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	746,519	△208,973	537,546	129,196	34,044,004
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△1,972
剰余金の配当					△621,748
親会社株主に帰属する当期純利益					2,023,986
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△272,008	34,754	△237,253	9,402	△227,851
当期変動額合計	△272,008	34,754	△237,253	9,402	1,172,414
当期末残高	474,510	△174,218	300,292	138,599	35,216,419

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,830,072	2,740,192
減価償却費	1,486,835	1,498,388
のれん償却額	17,039	69,320
賞与引当金の増減額(△は減少)	△52,448	△25,279
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,478	1,026
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,740	△5,087
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,092	12,007
減損損失	31,564	—
受取利息及び受取配当金	△9,671	△8,051
支払利息	1,070	1,206
為替差損益(△は益)	93,615	△51,990
有形固定資産除却損	12,460	3,497
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	△437
売上債権の増減額(△は増加)	168,981	△70,304
たな卸資産の増減額(△は増加)	348,709	170,116
未収入金の増減額(△は増加)	△134,612	184,149
仕入債務の増減額(△は減少)	453,461	△143,520
未払金の増減額(△は減少)	3,008	61,852
その他	258,657	36,065
小計	5,463,427	4,473,150
利息及び配当金の受取額	9,671	8,051
利息の支払額	△1,020	△1,206
法人税等の支払額	△476,541	△742,184
法人税等の還付額	147,176	7,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,142,714	3,745,176
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△5,038
有形固定資産の取得による支出	△1,478,538	△745,460
有形固定資産の売却による収入	158	7,014
無形固定資産の取得による支出	△30,678	△37,303
資産除去債務の履行による支出	△11,791	△19,247
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,473,946
その他	28	△1,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,520,821	△2,275,361
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△75,000	—
配当金の支払額	△622,094	△621,777
非支配株主への配当金の支払額	△5,178	△5,307
その他	△11,543	△11,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	△713,816	△638,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107,152	△140,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,800,923	690,515
現金及び現金同等物の期首残高	15,332,686	18,133,610
現金及び現金同等物の期末残高	18,133,610	18,824,125

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 RaySpec Ltd.

事業の内容 X線分析装置用半導体検出器及び信号処理装置の製造販売

## ② 企業結合を行った主な理由

同社のX線分析装置用事業を当社グループ内に取り込むことによるX線分析装置用部材事業での競争力の強化を目的としております。

## ③ 企業結合日

2017年12月26日

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

企業結合後の名称変更はありません。

## ⑥ 取得した議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

## (2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2018年1月1日から2018年3月31日まで

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,514,300千円
取得原価		1,514,300千円

## (4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	104,736千円
-----------	-----------

## (5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ① 発生したのれん金額

1,298,504千円

なお、のれん金額は当連結会計年度末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## ② 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

## ③ 償却方法及び償却期間

6年間にわたる均等償却



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品形態別のセグメントから構成されており、フィルム状製品を対象とする「光学フィルム事業」と、基板上形成製品等を対象とする「精密部品事業」であります。これらは、それぞれにおいて国内及び海外を包括した戦略を立案し、事業活動を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「光学フィルム事業」は、偏光・位相差フィルム等を製造販売しております。

「精密部品事業」は、基板フィルム貼合品、無機偏光板、X線分析装置部材等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,163,240	9,703,813	20,867,054	—	20,867,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,383	—	113,383	△113,383	—
計	11,276,623	9,703,813	20,980,437	△113,383	20,867,054
セグメント利益	1,242,466	1,594,191	2,836,657	—	2,836,657
セグメント資産	12,449,944	11,979,013	24,428,957	14,255,837	38,684,795
その他の項目					
減価償却費	773,267	713,568	1,486,835	—	1,486,835
のれん償却額	—	17,039	17,039	—	17,039
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	844,527	619,589	1,464,117	56,549	1,520,666

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントへの配分を行っていない全社資産であります。
- (2)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントへの配分を行っていない全社資産に係るものであります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費等は、一定の基準により各報告セグメントに配分しております。

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,839,706	10,362,161	21,201,867	—	21,201,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120,329	—	120,329	△120,329	—
計	10,960,036	10,362,161	21,322,197	△120,329	21,201,867
セグメント利益	1,250,611	1,589,212	2,839,823	—	2,839,823
セグメント資産	11,661,336	13,292,860	24,954,197	14,715,048	39,669,246
その他の項目					
減価償却費	817,463	680,925	1,498,388	—	1,498,388
のれん償却額	—	69,320	69,320	—	69,320
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	390,217	474,336	864,554	58,533	923,087

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントへの配分を行っていない全社資産であります。
- (2)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントへの配分を行っていない全社資産に係るものであります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費等は、一定の基準により各報告セグメントに配分しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

「光学フィルム事業」セグメントにおいて、売却予定資産および除却予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度においては31,564千円であります。

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	光学フィルム事業	精密部品事業	計			
(のれん)						
当期末残高	—	24,229	24,229	—	—	24,229

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	光学フィルム事業	精密部品事業	計			
(のれん)						
当期末残高	—	1,234,372	1,234,372	—	—	1,234,372

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり純資産額	818円21銭	846円27銭
1株当たり当期純利益金額	47円76銭	48円82銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	47円64銭	48円74銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,979,977	2,023,986
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,979,977	2,023,986
普通株式の期中平均株式数(株)	41,449,885	41,449,885
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	△4,965	△3,311
(うち米国連結子会社の発行する潜在株式に係る 権利行使を仮定した場合の当期純利益の減少額 (千円))	(△4,965)	(△3,311)
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株 式の概要	連結子会社の新株予約権1 種類(新株予約権の数 161,050個)	連結子会社の新株予約権1 種類(新株予約権の数 103,000個)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2017年3月31日)	当連結会計年度末 (2018年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	34,044,004	35,216,419
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	129,196	138,599
(うち非支配株主持分(千円))	(129,196)	(138,599)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	33,914,807	35,077,820
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(株)	41,449,885	41,449,885

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当事業年度 (2018年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,477,529	12,996,706
受取手形	96,818	58,814
売掛金	4,404,393	4,154,924
商品及び製品	1,108,707	1,059,676
仕掛品	1,430,044	1,233,305
原材料及び貯蔵品	1,220,325	1,045,766
前払費用	22,009	22,967
繰延税金資産	206,713	192,762
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	113,800	123,994
未収消費税等	543,481	412,905
その他	429,203	432,685
貸倒引当金	△10,083	△9,539
流動資産合計	22,042,943	21,724,968
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,006,128	2,787,569
構築物	202,955	183,273
機械及び装置	555,169	558,961
車両運搬具	7,651	8,755
工具、器具及び備品	251,868	213,158
土地	570,276	570,276
建設仮勘定	47,276	56,329
有形固定資産合計	4,641,325	4,378,325
無形固定資産		
特許権	1,075	537
ソフトウェア	34,081	48,009
その他	85,724	77,812
無形固定資産合計	120,881	126,359
投資その他の資産		
関係会社株式	3,233,930	4,852,967
出資金	72,000	72,000
関係会社出資金	525,500	525,500
関係会社長期貸付金	287,496	189,254
長期前払費用	702	1,265
前払年金費用	158,980	103,733
その他	85,372	85,014
貸倒引当金	△3,718	△3,522
投資その他の資産合計	4,360,263	5,826,213
固定資産合計	9,122,470	10,330,898
資産合計	31,165,414	32,055,867

(単位:千円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当事業年度 (2018年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	172,860	194,459
買掛金	2,674,629	2,163,688
未払金	545,190	592,209
未払費用	55,212	66,683
未払法人税等	288,982	332,444
前受金	54,193	1,354
預り金	16,575	34,898
賞与引当金	264,413	239,134
役員賞与引当金	50,183	51,209
設備関係支払手形	15,590	60,739
資産除去債務	19,247	—
その他	104,985	100,029
流動負債合計	4,262,064	3,836,849
固定負債		
繰延税金負債	26,479	8,926
退職給付引当金	25,425	16,725
資産除去債務	4,894	5,007
固定負債合計	56,799	30,658
負債合計	4,318,863	3,867,508
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,095,125	3,095,125
資本剰余金		
資本準備金	2,761,941	2,761,941
資本剰余金合計	2,761,941	2,761,941
利益剰余金		
利益準備金	168,116	168,116
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	17,919	16,606
別途積立金	18,700,000	19,700,000
繰越利益剰余金	2,103,503	2,446,624
利益剰余金合計	20,989,539	22,331,346
自己株式	△54	△54
株主資本合計	26,846,550	28,188,358
純資産合計	26,846,550	28,188,358
負債純資産合計	31,165,414	32,055,867

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	16,071,468	16,474,423
売上原価	12,046,835	12,138,099
売上総利益	4,024,632	4,336,323
販売費及び一般管理費	2,855,515	2,752,121
営業利益	1,169,116	1,584,202
営業外収益		
受取利息	5,882	3,007
受取配当金	450,103	904,743
その他	26,474	19,008
営業外収益合計	482,460	926,759
営業外費用		
支払利息	454	292
為替差損	98,996	72,320
その他	1,414	2,972
営業外費用合計	100,865	75,585
経常利益	1,550,712	2,435,376
特別利益		
固定資産売却益	5	436
特別利益合計	5	436
特別損失		
減損損失	31,564	—
固定資産除却損	8,691	10,352
特別損失合計	40,255	10,352
税引前当期純利益	1,510,462	2,425,460
法人税、住民税及び事業税	288,729	465,506
法人税等調整額	△17,656	△3,601
法人税等合計	271,072	461,904
当期純利益	1,239,389	1,963,555



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成2016年4月1日 至 平成2017年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計		利益準備金	その他利益剰余金
					特別償却準備金	圧縮記帳積立金
当期首残高	3,095,125	2,761,941	2,761,941	168,116	13,862	19,233
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
特別償却準備金の取崩					△13,862	
圧縮記帳積立金の取崩						△1,313
別途積立金の積立						
当期変動額合計	—	—	—	—	△13,862	△1,313
当期末残高	3,095,125	2,761,941	2,761,941	168,116	—	17,919

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	17,200,000	2,970,686	20,371,897	△54	26,228,909	26,228,909
当期変動額						
剰余金の配当		△621,748	△621,748		△621,748	△621,748
当期純利益		1,239,389	1,239,389		1,239,389	1,239,389
特別償却準備金の取崩		13,862	—		—	—
圧縮記帳積立金の取崩		1,313	—		—	—
別途積立金の積立	1,500,000	△1,500,000	—		—	—
当期変動額合計	1,500,000	△867,182	617,641	—	617,641	617,641
当期末残高	18,700,000	2,103,503	20,989,539	△54	26,846,550	26,846,550

当事業年度(自 平成2017年4月1日 至 平成2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	
					特別償却準備金	圧縮記帳積立金
当期首残高	3,095,125	2,761,941	2,761,941	168,116	—	17,919
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
特別償却準備金の取崩						
圧縮記帳積立金の取崩						△1,313
別途積立金の積立						
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△1,313
当期末残高	3,095,125	2,761,941	2,761,941	168,116	—	16,606

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	18,700,000	2,103,503	20,989,539	△54	26,846,550	26,846,550
当期変動額						
剰余金の配当		△621,748	△621,748		△621,748	△621,748
当期純利益		1,963,555	1,963,555		1,963,555	1,963,555
特別償却準備金の取崩			—		—	—
圧縮記帳積立金の取崩		1,313	—		—	—
別途積立金の積立	1,000,000	△1,000,000	—		—	—
当期変動額合計	1,000,000	343,121	1,341,807	—	1,341,807	1,341,807
当期末残高	19,700,000	2,446,624	22,331,346	△54	28,188,358	28,188,358